

令和6年度 第1回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年5月1日(水) 10時20分から11時30分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 早川大介、本多正明、中村恵美子、池田誠子、中西洋一郎、稲垣美世子
- 4 欠席委員 山田勝夫
- 5 オブザーバー 県居協働センター 桐澤祐貴
- 6 学校支援コーディネーター 中根理恵
- 7 学 校 鈴木彰一(校長)、上村仁美(教頭)、中西啓介(教務主任)、
坂口千佳(CSディレクター)
- 8 教育総務課 鈴木陽子
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

11 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の早川委員から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に教育総務課の鈴木陽子氏より浜松市学校運営協議会規則についての説明があり、第3条の学校運営協議会の目的及びこの協議会は合議制であることを確認した。また第8条にあるように学校運営基本方針の実践が的確に効果があったのか協議会委員も評価をする。協議会の取組についての自らの評価も行う旨の説明があった。

次に司会から、会長、副会長は、学校運営協議会設置時に決定したように、委員の任期中は会長を早川委員、副会長を中西委員が行うことでよいか委員に意見を求めたところ、全員異議なくこれを承認した。

また、司会から、議長には本多委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

次に司会より、昨年度の協議会自己評価を踏まえ、今年度は下記3点の取組を重点とする旨の説明があった。

○学校運営基本方針のより深い熟議、それを可能とする協議会運営の構築

○運営協議会として、地域の方たちによる支援活動との関係、役割分担の明確化

○学校運営協議会として積極的な情報発信

(1) 学校運営の基本方針について、

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・今の時代の子供たちは、ICT機器を学習に使い、すぐに答えを導き出すが、ICT機器の使用は授業や学習の効率を高める反面、思考力を奪ってしまっている。子供たちには、何度も失敗し、苦労して培うといったプロセスが必要だと考えている。自ら考えて身に付けるという習慣を持って欲しい。(中西委員)
- ・今年度は、この学校運営協議会で、基本方針についてもっと議論し意見を出し合い、反映していきたい。(本多委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について、今年度は、様々な分野で活躍する地域の方を招いての授業を行うなどの「県居に学んだことを誇りに思う活動」の充実のために使用するのはいかがでしょうか、という案が出され、委員からは次の意見があった。

- ・様々な分野で活躍する地域の方を招いての授業とあるが、学校としてはどういう方にお話をしたいのか。(池田委員)

→昨年は、プロフェッショナルとして色々な分野の専門家の方に講演いただいた。職業に特化する時もあるが、今年度は、6年生の子供たちにどんな方から話を聞きたいか意見を聞いている。子供たちの希望に沿って、テーマを考え、講師の方を探していきたい。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

13 報告

中西教務主任より、資料に基づき、令和6年度に予定している県居小サポーター活動についての説明があり、委員からは次の意見があった。

- ・地域皆で県居小の子を育てていこうと県居小サポーターを立ち上げた。年配の方でも遠足や町探検の見守りは出来ると思うが、登録が必要でスマートフォンのアプリでの連絡となると、使用できない年配の方は参加が難しい。もっと気軽に地域皆が参加できる体制になって欲しい。回覧なら地域皆が見ることができるので、回覧で案内する方法を検討するのはどうか。(中村委員)
- アプリやメール連絡が難しい場合、郵送や電話での連絡になると思うが、それでは先生方の労力が増えてボランティアの意味がない。現状では、アプリ連絡を受信できる方に、その周りの方を誘っていただく形になると思う。今後検討をしていこうと思う。(本多委員)

13 連絡

教頭から、次回会議は、令和6年7月31日(水)午後1時30分から県居小学校で開催予定であり、次回はクラス担任の先生方も同席する旨の報告があった。